

にほんいち すいげん さと
日本一の水源の郷をめざして

どうしむら
道志村



ぎよぎょう
漁業

むかし のうりんぎよぎょう
昔からの農林漁業 ②

どうしむら ま なか なが どうしがわ むかし いま
道志村の真ん中を流れる道志川は、昔も今も
むら きちょう ざいさん きよ みず のうぎょう
村の貴重な財産です。清らかな水は農業に、
ぎよぎょう やくだ かわ
漁業にと役立ってきました。川にはアユ、ヤ
マメ、イワナ、カジカ、ウガイ、ウナギなど
たくさんの魚が住み多くの釣り人でにぎわっ
ています。



ともづ
友釣り釣
あげた
アユ



お 落ちアユを捕まえる竹で作ったヤナ

かつて道志川のアユは「鼻曲がり鮎」と呼ばれて
いました。清流にすむ道志のアユは、味のよい
ことで有名で、江戸時代には将軍家にも献上さ
れました。昔からの漁法は、毛針やエサ釣り、
ゴロ引き、おとりアユを使った友釣り等。子
どもたちはカジリという方法で、箱メガネで水中
をのぞきながら魚を引っかけます。10月頃には
石を集めて川筋をせきとめ、ヤナ
という竹で作ったすのこを作り、
お 落ちアユを捕まえます。



▶ 箱メガネ(面ともいう。口でくわえて見る)

道志村子ども農山漁村地域協議会 道志村観光協会 〒402-0211 山梨県南都留郡道志村 6894-4

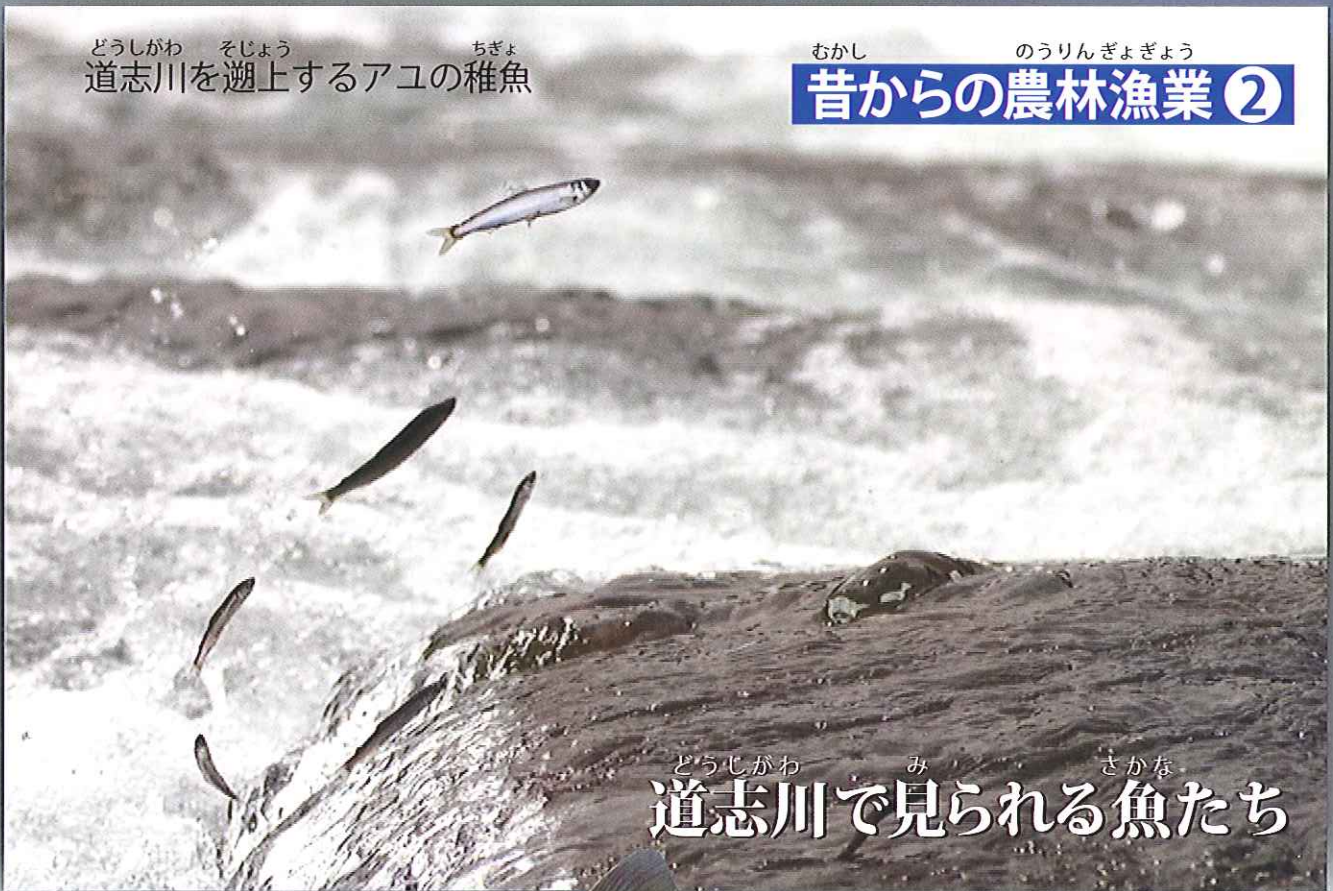
TEL 0554-52-1414 FAX 0554-52-1415 URL <http://doshi-kanko.com>

このリーフレットは、食と地域の交流促進対策交付金から助成を受けて作成しています。

にほんいち すいげん さと どうしむら
日本一の水源の郷をめざして——道志村

どうしがわ そじょう ちぎよ
 道志川を遡上するアユの稚魚

むかし のうりんぎよぎょう
昔からの農林漁業②



どうしがわ み さかな
道志川で見られる魚たち

| | | |
|---|---|--|
| <p>アユ <small>ぜんちょうやく</small> 全長約 15~20cm。道志川のアユは香り良く香魚として有名。川底の石に付いた藻を歯でそぐように食べたあとを「アユのはみあと」という。</p> | <p>ヤマメ <small>ぜんちょうやく</small> 全長約 15~30cm。道志川を代表する渓流魚。7~10個の青緑色の斑点が特徴。</p> | <p>イワナ (ヤナ) <small>ぜんちょうやく</small> 全長約 15~40cm。川の源流から上流に住む。小さな沢にビックリするような大形のイワナがいて、釣り人をひきつける。</p> |
| <p>ウガイ (マルタ) <small>ぜんちょうやく</small> 全長約 15~30cm。日本全国の川や沼地に生息。お腹が赤くなる4~5月に産卵する。</p> | <p>ヨシノボリ <small>ぜんちょうやく</small> 全長約 5~10cm。淡水のハゼの仲間、吸盤のある魚。</p> | <p>カジガ (カジラ) <small>ぜんちょうやく</small> 全長約 8~15cm。溪流の石の間に住む。海に住むカサゴの仲間、味がよく、焼き物や天ぷらにする。</p> |
| <p>ウナギ <small>ぜんちょうやく</small> 全長約 1m。体は細長く、円筒形。昔から道志川のウナギは味のよいことで有名。</p> | <p>ドジョウ <small>ぜんちょうやく</small> 全長約 12cm。エラ呼吸のほか、お腹に空気を取り込み呼吸する。</p> | <p>ニジマス <small>ぜんちょうやく</small> 全長約 40~50cm。明治時代に国外から移入。放流されて、住みつく。</p> |